



いいで町

197号

議会だより

大雪でも町民生活を守る

ありがとうオペレーターの皆さん

昼夜問わずの除雪作業

表紙の説明は次ページにあります

3月定例議会



携帯・スマホからアクセス!

施政方針	暮らし満足度No.1のまちづくりを	P2
総括質疑	厳しいからこそ最少の経費で最大の効果を...	P3
令和7年度予算	前年度比較1億円の増額予算.....	P4, P5
第二小・添川小・手ノ子小の統合案を可決.....		P15
追跡レポート	政策提言はどうなった.....	P19
町民からのメッセージ	“ありがとう”の言葉が一番嬉しい...	P20

施政方針

やっぱり住むなら飯豊町 暮らし満足度No.1のまちづくりを



飯豊町長
あらし まさと
正人

施政方針概要

身近な行政・頼れる行政を実感できるような環境を形成する

人口減少が止まらず、東京一極集中が加速する中「やっぱり住むなら飯豊町」と、町内外の皆様から評価いただけるまちづくりを推進することが、人口減少や人を呼び寄せる力になると確信する。

今年度は第5次飯豊町総合計画の中間見直しの年であり、公約の「暮らし満足度No.1のまち」実現のため、これまでの取り組みを振り返り、山積する課題解決や、住民ニーズに応えるために努力する。社会変化に対応し町民の思いを結集して町政運営を行う。

予算編成方針

幸せに安心して暮らせる未来を実現するための行財政運営を行う

令和4年と6年の度重なる豪雨災害に対する復旧経費や大規模事業の元利償還による公債費の増大で、極めて厳しい財政状況である。その健全化を図る観点から既存事業の効果や必要性を点検し、無駄の排除、事業の見直し・再構築に務めた。また、新たな財源確保を行いながら施策を展開していく。最小の経費で最大の効果をあげる行財政運営に努める。

令和7年度の 主要政策

人をはぐくむまち

◆まちづくりセンター

住民自らが地域課題の解決のため、まちづくりセンターの役割を明確にしていく。

◆義務教育学校

義務教育学校に向けて準備をすすめるが、開校延期による極小規模校、複式学級の解消を図るため、令和8年4月から第二小・手ノ子小・添川小の3校を統合する。



手ノ子小・添川小と統合する第二小

世代をつなぐまち

◆子育て支援

3歳未満の児童保育料軽減、18歳までの医療費の無償化、新たにおむつ支給クーポン券を配付する。

◆医療体制

公立置賜病院と医師派遣の医療連携強化、医師・看護師の確保、民間医療期間と連携し地域医療確保に努める。

縁をつなぐまち

◆海外インバウンド

訪日外国人に対して観光情報を提供し、快適に滞在できる環境づくりを行う。

◆空き家対策

空き家バンク、空き家リノベーション事業のほか、解体費シミュレーションにより解体の促進を図る。

表紙の説明

町の除雪基地にて

除雪作業が終わり、機械の点検と清掃をしているところ、手を休めて頂き撮影しました。この後、インタビューにも答えて頂きました。
(20ページに掲載)

郷土を耕すまち

◆交通網の整備

JR米坂線は沿線自治体と連携し、一日も早い復旧に向け取り組む。新潟山形南部連絡道路は、沼沢手ノ子区間の早期事業着手に努力する。

可能性をひらくまち

◆災害復旧

令和4年と6年の豪雨災害復旧とJR米坂線横断水路改修、山林や林道は県と連携し、治山事業に取り組む。

総括質疑

令和7年度施政方針及び予算に対し 厳しいからこそ最少の経費で最大の効果を



屋嶋雅一 議員

3月定例会には、翌年度の施政方針と予算案が提案され、それを受け議会は予算特別委員会を設置し審査します。その際、議会の代表が施政方針と予算に対して『総括質疑』を行います。この度は屋嶋雅一議員が町の施策を質問しました。

【予算編成】

次年度予算で一番の特色は何か

問 現在町は厳しい財政状況にあり、無駄の排除や事業の見直しに努め、最少の経費で最大の効果をあげることが大事だが、このたびの予算編成で町長自身が一番の特色を出したことは何か。

町長 厳しい財政であつたものの、私の考えの一部は盛り込んだ。無痛分娩費用の助成、新生児のオムツ用品支

給、高齢者元氣生活応援商品券5千円を配布などである。

基金取り崩し・町債依存の予算編成では

問 令和7年度は1億円多い増額予算。地方交付税や基金の取り崩し・町債に依存した予算編成であり、今後の財政運営は大丈夫か。

町長 有利な町債を検討し、町税や地方交付税を固く見積もり、各基金を取り崩し財源調整を行い歳入を組み立

てた。今後は緊急度と町民のニーズを的確に把握した事業選択を行う。歳出削減を中心に行財政改革を断行する。

【学校統合】

統合による子どもたちの心身に影響はないか

問 義務教育学校開校まで、複式学級解消のための3校統合について、環境が変わることにより、子どもたちの心身に悪影響があつてはならない。その対応と開校に向けての財源確保は。

町長 小学校間の同学年交流学习など校外での学習を通し、児童同士の交流を深めている。財源確保は各省庁を訪問し働きかける。開校時期については令和7年度中に決定した。

【観光振興】

観光振興の強化を

問 町の自主財源確保と、にぎわい創出に大切な観光振興の強化を。町長 宿泊施設の魅力向上や農家民宿の推進、体験型観光の拡充、水没林観光のためシャトルバスの運行や観光時期の分散化、事前予約制の導入などにより、飯豊町の魅力を最大限に活かした観光振興の強化に取り組んでいく。

【まちづくりセンター】

考えられる問題解決を

問 持続した町づくりのため、地区公民館を地区まちづくりセンターとするが、地域間の格差や職員の負担など、考えられる問題はどうか解決するか。

町長 各地区のそれぞれの特色を活かした町づくりを実践していく上で、大なり小なり、差は生じてくると思つている。地区間で情報交換しながら、良いケースをモデルケースとして取り入れ好循環を期待。職員はすべては解決できないため、関係機関に情報をつなげる対応となる。

他に

災害に強い森林管理の促進の必要性について質問した。



水没林でカヌー体験

元利償還始まり、厳しい財政状況

予算総額33億7,883万円) 3月定例会

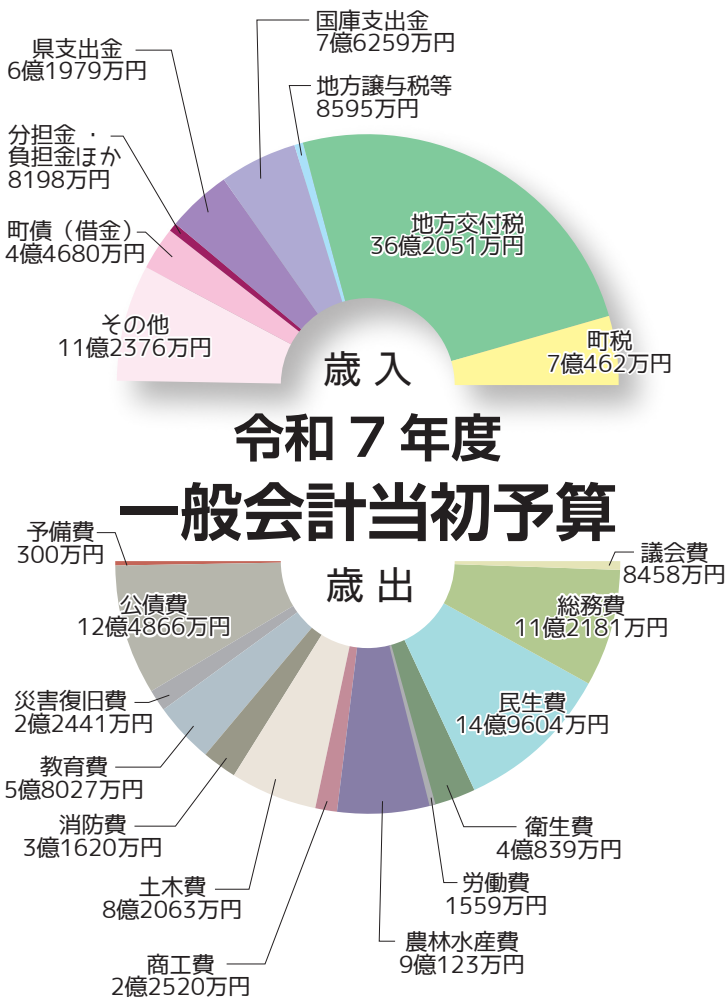
議会定例会の概要

令和 7 年第 1 回定例会は、3 月 4 日から14日までの11日間開催され、8 人の議員が一般質問に立ち、町政を問いました。

議案は、豪雪に伴う除雪経費増額の補正予算を含む専決処分の承認 6 件、条例の設定が 4 件、条例の一部改正が14件、令和 6 年度一般会計及び各会計の補正予算14件、指定管理者の指定 1 件、特別措置法に基づく計画の変更 2 件、令和 7 年度一般会計予算並びに各特別会計及び水道事業会計予算、下水道事業会計予算13案件を審議し、追加の議案として議員発議 4 件、人事案件 3 件を審議し、いずれも原案のとおり可決、承認した。

令和 7 年度 当初予算額

会 計		予算額
一 般 会 計		74億4600万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	8億 825万円
	事 業 勘 定	7億2327万円
	直営診療施設勘定	8498万円
	後 期 高 齢 者 医 療	1億1356万円
	介 護 保 険	9億3668万円
	訪 問 看 護	2142万円
	介護老人保健施設	3億3014万円
	萩 生 財 産 区	41万円
	豊 原 財 産 区	32万円
	添 川 財 産 区	474万円
	豊 川 財 産 区	37万円
	中 津 川 財 産 区	516万円
	水 道 事 業 会 計	3億3330万円
	損 益 勘 定	2億3540万円
下 水 道 事 業 会 計	資 本 勘 定	9790万円
	損 益 勘 定	4億8526万円
	資 本 勘 定	3億3922万円
	合 計	108億2483万円



令和7年度予算 大規模事業の

(一般会計予算総額 74億4,600万円、特別会計

令和7年度一般会計当初予算の概要

一般会計予算の総額は、令和4年8月及び令和6年7月の度重なる豪雨災害に対する復旧・復興経費に加え、大規模事業の元利償還開始による公債費の増大で厳しい状況だが、「暮らし満足度No. 1のまち」実現に向けて飛躍と成長の基盤を築くため、前年度比1.4%（1億円）増の74億4,600万円となった。

歳出では、昨年度に引き続き災害復旧事業に重点を置きながら、子育て支援、健康福祉、教育、農業など、住民のニーズに的確に応えられるよう財政調整基金を始め各種基金の取り崩しにより必要額の確保となった。

主要な事業（歳出）

○地域づくり推進事業	957万円
○飯豊で幸せになる事業	1,000万円
○学校・家庭・地域の連携協働推進事業	775万円
○地区まちづくりセンター事業	8,686万円
○こども家庭センター事業	364万円
○除雪支援事業	861万円
○豪雪地帯安全確保緊急対策事業	379万円
○空き家対策事業	6,112万円
○移住定住促進事業	856万円
○結婚支援事業	250万円
○持続可能な森林づくり事業	1,506万円
○工業振興事業	1,375万円
○アンテナショップ運営事業	771万円
○飯豊・農の未来事業	704万円
○道路新設改良事業	1億5,775万円
○消防施設等整備事業	2,938万円
○地球温暖化対策	559万円
○道路橋梁災害復旧	1億8,868万円



地域づくりの活動拠点



復旧が急がれる被災箇所



高齢者世帯の除雪に力を

公民館へ

総務文教 所管分



予算特別委員長

山 政 男
ふな やま まさ お

令和7年度一般会計、各特別会計及び下水道事業会計合わせて13件について、予算特別委員会を設置し審査を行った。

委員長に舟山政男委員、副委員長に屋嶋雅一委員を選任し、3月11日は総務文教常任委員会所管分、3月12日は産業厚生常任委員会所管分の予算を2日間にわたり、慎重かつ活発な審査を行った。いずれも認定すべきものと決定した。

一般会計

センターの進め方は

質問 遠藤(芳)委員

各地区公民館がまちづくりセンターとなり地域の課題に取り組み体制ができることに期待しているが、センターの具体的な事業やこれまでの事業をどう進めるのか。

社会教育課長 各セン

ターは今後2人体制プ

ラス町職員が週何日か勤める予定。町民

の協力を得ながら地域課題解決に取り組む。これまでの生涯学習や地域との連携事業は継続しながら見直していく。



地区の活発な話し合い

新しい創生交付金は

質問 横山委員 総務

費国庫補助金の新しい地方経済・生活環境創生交付金の457万の内容は。

総合政策室長 新たに地方公共団体が自由度の高い事業を行うことができるという第二世代交付金で、めざみの里まつりや新規就農者支援事業などに充当されるものである。

寒冷地手当について

質問 松山委員 給与

手当とは本来、職員同士の不公平感を埋めるものである。飯豊町はどこでも同じ寒さなので手当の趣旨から考えると寒冷地手当は不要である。事実、町内の事業所で寒冷地手当を支給しているところ

は聞いたことがない。これに対して役場の場合には全職員にもれなく支給しているのはなぜか。

総務課長 地方自治法

204条により、寒冷地手当を支給することができるとされている。飯豊町ではそれに準じて給与条例で寒冷地手当の支給を定めている。

備品購入については

質問 高橋(勝)委員

義務教育学校の開校時期が明示されていないが、開校準備費の名目で備品購入が計上されている。備品の名称と数量は。

義務教育学校準備室長

3校の統合で手狭な教室が発生する。そのために教室を拡張する必要から、現在のロッカーを撤去して、その

予算特別 委員会

五つの各地区 まちづくり

後に移動式のロッカーを5台購入する。なお、閉校後の学校からは使用可能な備品を移動して、再利用する予定としている。

タブレットの更新は

質問 屋嶋委員 児童、生徒が使用している教材用のタブレットが5年を迎え、故障やバッテリーの劣化により令和7年度に機器を更新すると聞いている。予算では、機器の購入までの計上はされていないようだが更新をどのように考えているか。

教育振興室長 最初の

タブレット導入時は、機器を購入している。令和7年度からは556台を新たにリース契約する。リース料は各小学校・中学校の使用料に含まれ10月を

用途に更新を考えている。

デジタル補助金は

質問 高橋(亨)委員

総務費国庫補助金について、デジタル基盤改革支援補助金の充当事業は。

企画課長 基幹業務システム運用等業務委託

料7870万4千円、

自治体情報システム運用等業務委託料729万7千円、システム運用等の保守委託料・関連使用料4596万円である。

飯豊町の魅力発信を

質問 島貫委員 ふる

さと納税ポータルサイ

ト委託料が減額されて

いるが、納税額増は可能か。ふるさと納税増に向け、返礼品と共に飯豊町の魅力をどう伝えるかが大切ではないか。

企画課長 返礼品だけ

では限度があるので新たな中間業者と十分に検討し、町のブランド力も高め税収増を図っ

ていきたい。

部活動地域移行支援は

質問 遠藤(純)委員 教育

委員会所管の地域スポーツクラブ活動体制整備事業委託金80万円、及び部活動指導員配置促進事業費48万9千円は部活動地域移行に関わる補助金等か。

教育総務課長 地域ス

ポーツクラブ活動体制整備事業委託金は部活の地域移行に関わるモデル事業への委託金で、部活動指導員配置の補助金は、教職員の働き方改革のための補助金である。両方の補助金を有効に活用しながら部活動の地域移行を進めたい。



更新される予定の機器を使う授業の状況

券で景況感の改善を！

産業厚生 所 管 分

一般 会 計

商工業振興

プレミアム付き
商品券の販売計画

質問 横山委員 プレ

ミアム付き商品券発行
事業補助金2340万
円のプレミアム率と販
売セット数は。

商工観光課長 夏はプ

レミアム率30%で4千
セット、冬は20%で4
500セットの計画で
ある。

所得制限を設けては

質問 松山委員 プレ

ミアム付き商品券発売
については、所得制限
を設けて、低所得世帯
に大きな効果があるよ
うにすべきでは。

商工観光課長 プレミ



期待されるプレミアム付き商品券

アム付き商品券発行事
業は商工会で行なっ
ている事業であり、個人
情報保護の観点から所
得制限はむずかしい。

業種が偏つて
いないのか

質問 島貫委員 プレ

ミアム付き商品券の使
用が特定の業種に偏っ
ては地域経済の活性化
にならないのでは。

商工観光課長 課題が

あると推察されるので、

高齢者予算

商工会と協議を重ねて
課題解決・改善に取り
組んでいきたい。

物価対策

質問 高橋(亨)委員

高齢者物価対策事業商
品券配布事業1281
万円の事業の内容と委
託料250万円の内容
は。

健康福祉課長 256

2名の高齢者の方に

5000円の商品券を

配布する事業である。

豪雪対策

質問 遠藤(芳)委員

本年も豪雪地帯安全確
保緊急対策で除雪機械

購入を予定しているが、
どのように活用するの
か。

健康福祉課長 宅道除

雪のために、小回りの
利く中型2台にするか
検討している。新たに
立ち上げた有償ボラン
ティア団体に貸し出し
たい。

観光開発

遊休施設の再稼働
を目指して

質問 高橋(勝)委員

新規事業の施設利用調
査業務委託料200万
円について、対象施設
と業務内容は。

観光交流室長 再開へ

の環境整備の一環とし
て、フォレストいいで
とコテージの建物状況
調査とアドバイザーか
らの指導助言である。

百歳祝い金を検討

質問 遠藤(純)委員

町長の選挙公約であつ
た百歳祝金の予算措置

高齢者世帯宅道除雪で活躍



予算特別 委員会

プレミアム付き商品

農林業振興

生産振興助成金の
減額は

質問 遠藤(純)委員

生産調整を後押ししている生産振興助成金が800万円減額している理由は。



生産調整で畑地化

農林振興課長 作物振興助成に1300万円、特別栽培米に200万円補助していく内容になっている。減額は、畑地化が進んでいる分である。

地域整備

危険空き家解体は

質問 屋嶋委員 大

巻橋災害関連の空き家解体工事請負費に5300万円が計上されているが、追加予算とはならないか。

地域整備課長 今年度解体工事を実施する。また、項目追加分も加味しているため追加とはならない。

町道新設改良の
増額は

質問 遠藤(純)委員

町道新設改良費が前年度比で約1億円増額している理由は。
地域整備課長 今年度は、町道手ノ子高峰線及び小山線の改良工事を予定している。

特別会計

介護報酬・利用料
減額は

質問 高橋(勝)委員

歳入において、介護報酬と利用料が減額になっている。これはベ

ツド数の減少によるものと理解するが、それによって待機者は発生しないか。また、対応の方法は。

施設運営室長 冬場は毎年申し込みが増加し、4～5名の待機者が発生する。別の施設や別サービスを紹介して対応している。

給水収益減額の
理由は

質問 屋嶋委員 水道

事業の給水収益が96万円減額の理由は。



人口減少も一因か

水道事業会計の
令和4年・6年
災害の復旧状況は

質問 遠藤(純)委員

令和4年、6年災害で被災した大平線導水管

地域整備課長 前年度の実績を元に算出したが、実際に一般家庭の契約件数・有水収量とも減少している。

の復旧及び、大巻橋の配水管敷設替工事はどうなるのか。
地域整備課長 令和4年災害の空気弁工事及び前野橋から上流の工事を行なうことにより大平の水が年度中に通水される。



被災した導水管



氏 名	質問事項	ページ
議席番号3番 えんとう すみお 遠藤 純雄 議員	① 攻めの農業振興について ② 上下水道料金の改定検討について	P11上
議席番号2番 しまぬき ひさお 島貫 寿雄 議員	① 町作りの短期ビジョンと長期ビジョンとは。特に注力する施策とは。 ② 女性と若者が住みやすく、活躍出来る町作りを考える時代ではないでしょうか。 ③ 飯豊町という町そのもののブランディングの強化策をどう考えているのか。	P11下
議席番号1番 よこやま きよひこ 横山 清彦 議員	① 手ノ子スキー場の整備と利活用について	P12上
議席番号4番 たかはし まさる 高橋 勝 議員	① 生活密着型の施策「居心地がいいね飯豊町」を提案 ② 課題解決の一助に。今後の協力隊採用を問う ③ 共通事業の設定が必要では。まちづくりセンターの今後を問う	P12下
議席番号7番 まつやま かずよし 松山 和好 議員	① 監査委員の職務とは。 ② 義務教育学校の名称の行方は。	P13上
議席番号8番 えんとう よしあき 遠藤 芳昭 議員	① 高齢者世帯の除雪支援について ② 海外インパウンド誘致の推進について	P13下
議席番号5番 やし まさかず 屋嶋 雅一 議員	① 厳しい財政を鑑みた行財政改革を問う ② G I G Aスクール構想導入にともなう問題点の現状を問う	P14上
議席番号6番 ふなやま まさお 舟山 政男 議員	① 飯豊町花笠づくりの存続について	P14下

一般質問は質問した議員が自らの責任で執筆しています。



録画中継を見ることが出来ます

知れば得する議会の基本「一般質問について」

一般質問は定例会の本会議において、議員が執行機関（町長や教育長）に対して、行政全般（公共事務、行政事務の一切を含む）について質問を行うことです。一般質問では、執行官の所見や施策について報告を求めたり問いただすこともあります。

攻めの農業振興、上下水道料金改定はいかに

町長 農業は土づくりが基本
上下水道料金は令和8
年度中に改定予定

攻めの農業振興を
どう進めるか

質問 R7年度から環境保全型農業直接支払交付金が増額また、水田活用直接支払交付金が増額が水張り要件を求めず対象を水田から作物ごと支援に切り替わる。守りだけではなく攻めの農業振興をどのように進めるのか。

有機農業と
振興作物を支援

町長 現段階で有機農業に取り組んでいる農業者はいない。しかし緑の食料システム戦略では2050年まで有

機農業を25%にする目標があり、町では研修会を開催し取組の後押しをしている。作物振興では土づくりを基本とし、町の振興作物であるアスパラ、果樹、トマト、花きなど今後とも振興していきたい。

上下水道料金改定の
時期はいつ頃か

質問 上下水道料金の改定検討をされているが、いつ、どれくらいの額の改定を見込んでいるのか。

令和8年度中改定予定

町長 法定耐用年数超え上水道水道管の割合



老朽化が進む水道施設

が19%となっており順次更新が必要となっている。各配水池の耐震化、配水本管の更新を優先し整備を進める。下水道についても一般会計から赤字補填を受けていることから両会計とも令和8年度には改定を行いたい。



えんどう すみお 遠藤純雄 議員

飯豊町という町そのもののブランディングの強化をどう考えるのか

町長 景観、歴史、町並み、特産品等地域資源を活用し、外部に伝えたい

ふるさと納税額増の為に町の知名度アップを

質問 「飯豊町」の知名度、どんな特徴の町かをどう訴求するのか。
町長 町がどのようなまちづくりを目指すのかしつかりとビジョンを掲げて事業と施策を打っていく必要がある。

質問 以前存在した福島県旧山都町主体の「飯豊連峰協和国」の様に飯豊山に関する市町村の交流会を主宰して飯豊のブランド力アップを。

町長 三県八市町村で協力連携して売って行くことは大切だ。いいでトライアングル合唱祭等を通じて呼びかけ

る事はできる。
女性と若者が住みやすく活躍できる町づくりを考える時代では。

質問 女性目線を生かして女性が地域の役員になれる組織作りを。

町長 地域における男女参画の推進を図っている。いいで未来カフェのように互いに性別や年代を超えて自由に意見交換できる場や組織づくりを強化したい。

質問 女性の役員が出たらその地域の組織に補助金を考えては。

町長 予算もあるが有償での協力も含めて新たな組織づくりを進めに行きたい。



しまぬき ひさお 島貫寿雄 議員

町づくりの短期ビジョン長期ビジョンとは

質問 老朽化しエレベーターも無い役場の新庁舎建設の予定は。
町長 現在の役場は高齢者をはじめ町民の皆様には不便を掛けている。財政的に役場新庁舎建設は極めて厳しい。

質問 閉校予定の第一小学校をリフォームしての移転の可能性は。

町長 第一小学校の用途転換は財政負担が小さくコスト縮減、環境負荷の低減に繋がるが、まずは将来の役場庁舎のあり方について町民の皆様との議論を深めていく必要がある。

手ノ子スキー場の 整備と利活用について

町長

利用者の安全を
確保して取り組む

建物、設備の整備が
必要ではないか

質問 令和4年度にリフトの滑車が破損して営業ができない時期があったが今後も安全に営業を行っていくうえで建物、リフトの設備、駐車場の整備等が必要ではないか。

町長 昭和52年に向原スキー場として営業を開始して48年を迎え、リフトは幾度となく故障が生じ修繕しながら使用している。今年度も大規模改修し安全運行に細心の注意を払い運行している。カモシカロッジの雨漏りやど



賑わいのある
手ノ子スキー場

食堂の営業存続に
町の支援が必要

んぐりハウスの老朽化が進んでいるが修繕し使用している。駐車場の整備も優先順位を付けて計画性をもって安全を確保していく。



よこやま きよひこ
横山 清彦 議員

質問 食堂の営業を続けてもらうために町の支援が必要ではないか。

町長 利用される方が温かく美味しい食事を頂けることで大変ありがたく思っている。利用者の人数を心配しないで営業できるように検討したい。

質問 夏場の利活用としてグラウンドゴルフを手軽にできるような芝の整備期間以外スタートマット、ポールポストの常設はできないか。
町長 子供から高齢者まで手軽にできるスポーツなので手ノ子スキー場活性化組合と協議して検討したい。

センターで取り組む 共通事業の設定を

町長

共通意識をもって
取り組み可能な事業も
ある

暮らしやすさに
差があっては困る

質問 まちづくりセンターへの移行によって業務範囲が広がるが、活動の差が暮らしやすさの差になつては困る。全てのセンターに共通の課題解決事業を設定して取り組むことが必要では。

町長 全体の共通課題として、「雪、地域の足、買い物」などが、共通で取り組むことが可能な事項と考えられる。
再質問 センター内部に「地区まちづくり委員会」の設置予定とされている。全地域に同

時期に立ち上げることになるのか。

社会教育課長 3月定例会の条例改正で、公民館運営審議会から「地区まちづくり委員会」と切り替える。委員会の設立は、全センター一斉とはならない可能性はある。

隊員の募集予定は

質問 今年夏で、町内の地域おこし協力隊の隊員が皆無となる。他自治体では複数の隊員が在籍し、地域活性化の一助となっている。本町も積極的に隊員の採用を。

町長 大字に複数除雪隊の必要性は感じているので、今後の検討としたい。

複数団体の除雪
体制構築を

質問 今冬の大雪で、大字に1団体の除雪隊（宅道除雪）では、終了時間が昼過ぎになる場合もあり限界を感じた。複数の組織体制構築を目指し、町の支援で後押しを。

町長 大字に複数除雪隊の必要性は感じているので、今後の検討としたい。



たかはし まさる
高橋 勝 議員

1、監査委員の職務とは 2、義務教育学校の名称 の行方は

町長

監査委員は地方自治法に則り厳正に職務を遂行
義務教育学校は再度準備作業中

監査委員は行政予算執行の要である

質問 民間においては、お金というものは下から拾うものである。例えば、稲作農家であれば水田からお金を拾い集めて次に備えている。これに対して行政の場合にはお金というものは天から降ってくるものだが、1円たりとも無駄に地面に落としてはならない。このことから監査役は行政の要である。飯豊町の監査委員の職務はどのようなになっているのか。

町長 監査委員は自治

法に則り、行政が外部からの圧力などによって干渉されることなく、自らの判断と責任において誠実かつ厳正に、その職務を遂行するという義務を有している。

これまで不適切な取扱いは無かったか

再質問 過去に、出来上がってきたものが、発注金額に見合わなくとも、当初の金額を支払ったり、そもそも内容を確認しないで支払ったという事はなかったか。

町長 業務委託の場合を含め、完成検査に際



まつやま かずよし 議員
松山 和好

しては検査員が厳正な検査をして支払いをし、その事に対して監査委員が監査しており、結果的に監査委員も検査しているという認識である。

義務教育学校の名称はどうなる

質問 現在、義務教育学校の設立準備中だが、「いいでの森学園」という名称が目につくが、町長 計画し直しになったことにより時間的猶予をいただいたので、熟考していきたい。

町長 地域での支え合いを大切にしていくなはまちづくりセンターを中心に取り組んでいきたい。

冬期間の現状の把握を

質問 行政としてまずは高齢者世帯等の除雪

除雪支援組織や担い手づくりに力を

質問 今後高齢者世帯が増える。除雪を支援する担い手や組織の育成に力を入れる必要があるのでは。

まちづくりセンターを中心に担い手を育成

町長 地域での支え合いを大切にしていくなはまちづくりセンターを中心に取り組んでいきたい。



高齢者世帯の除雪支援

高齢者世帯除雪支援に力を
訪日客受け入れの対応策は

町長

要除雪支援者を把握していく
地域おこし協力隊等で支援を検討

の現状を把握することが大切なのは。

まちづくりセンター業務として取り組む

町長 除雪の要支援者を調査することは大切であり、まちづくりセンターの業務として取り組んでいきたい。

外国人観光客の受け入れ強化策は

質問 外国人観光（インバウンド）が1万人を超えた。今後の受け入れの対応策は。

地域おこし協力隊等の人材で支援したい

町長 インバウンド対応の専門員として、観光協会へ「地域おこし協力隊員」の派遣などが考えられる。受入れの資機材についても調査していく。インバウンドの宿泊滞在に対応できるよう「フォレストいいで」の再利用構想をすすめていきたいと考えている。



えんどう よしあき 議員
遠藤 芳昭

老朽施設の維持経費は無駄で解体を



最低限の費用を
予算計上し維持管理に
対応

老朽施設の解体を

質問 厳しい財政状況にあり、老朽施設の維持や保全に充当する財源確保は無駄。初期費用はかかるが、将来負担の軽減のためには早めの解体を考えるべき。

町長 現状解体に使用できる財源がない。最低限の費用を予算計上し、維持管理に対応している。将来負担の軽減を図るべく、長期的な視点をもって施設の全体面積の縮減に努めていく。

水道事業を広域連携に

質問 今後水道事業は町単独の事業としては厳しい状況にある。町民への負担増も考えれば、水道水の購入も視野に、広域連携事業とすべきでは。

町長 現在、置賜の各市町で、広域連携による効果や課題を協議中。将来にわたり、水道水の安定供給を続けていくために、広域連携や水道水の購入など検討したい。



やしま まさかず
屋嶋 雅一 議員

視力低下など問題は

質問 一人一台のタブレットを活用した授業となつて数年経つが、導入当時、視力低下など問題視された。実際現状はどうか。

教育長 児童生徒へのインターネット使用上の問題や身体に悪影響を及ぼす可能性、また教職員には新たな学習指導技術の構築による負担増など懸念された。現在は導入による大きな問題はない。引き続きインターネットの安全な使い方など、保護者にも理解してもらうよう促していく。

飯豊町花笠づくりの存続について



担い手確保につながる
ようにしていきたい。

花笠が外国産になることについては

質問 山形花笠まつりに使われるスゲ笠が担い手不足と、スゲの成長不良により、ベトナム産品となる予定となる報道については。

技術の継承を取り組みたい

町長 スゲの生育不良と担い手不足により祭りの必要数が確保できないために、1500個ベトナムへの発注となったと認識している。町として中津川の花笠組合や県と連携して担い手確保に繋がるよう



自宅にて笠づくりをする

スゲ笠制作のワークショップを開催するなど継続した取り組みを行い、中津川地区の伝統を継承していきたい。

文化財とすることは

質問 花笠づくりを文化財的な取扱いにする

町長 スゲの生産も含めて花笠づくりを残すことは大事である。生産組合の要望や思いがあれば、町としては最大限残す努力をする。

大事なことである

ことは。



ふなやま まさお
舟山 政男 議員

令和8年4月

第二小・添川小・手ノ子小の統合案を可決

3月定例会

3月6日と14日に条例改正などの議案審議があり、これまで義務教育学校の段階的な一部統合案が可決された。

一体型義務教育 学校の段階的措置

令和8年4月から第二小・添川小・手ノ子小を統合する町立学校設置条例の改正案を可決した。教職員配置の関係で分離型から一体型開校に方針を転換し段階的な措置として3小学校を統合する。

極小規模学校と複式 学級の解消をめざす

添川小と手ノ子小には複式学級が2クラスずつあり、手ノ子小では令和8年度に4年生が最上級生となる。保護者からは教育環境について早期に統合を望む声があり、教育委員会では住民との意見交換会を実施した結果、おおむね理解を得られたと判断したとのことである。

一般会計補正予算

議員から質問があり説明を要した補正予算

◆ふるさと寄付金

8000万円減額

◆企業版ふるさと寄付金

2790万円減額

◆ふるさと寄付金ポータルサイト委託料

750万円減額

◆景観計画策定業務

600万円減額

◆住宅リフォーム支援事業補助金

750万円減額

◆非課税世帯物価高騰緊急支援給付金

1160万円減額

◆飯豊で幸せになる事業

391万円増額

◆児童手当支給事業

1616万円減額

◆除雪備品購入費

2588万円減額

豪雪・除雪費追加

今冬は記録的な豪雪に見舞われ、除雪費が3度追加補正された。

◆道路除雪作業等委託

①当初予算

2億329万円

②2月7日追加補正

5000万円

③2月14日追加補正

4000万円

③2月26日追加補正

3000万円

◆高齢者世帯除雪支援

①当初予算924万円

②3月6日追加補正

210万円

◆白川ダム公園除雪

水没林観光対応追加

350万円



今冬は除雪車が活躍した

まちづくりセンター 設置条例可決

まちづくりセンター

はこれまで地区公民館と併設されてきたが、正式にまちづくりセンターとなる条例が可決された。

【設置目的】

住民主体の地域づくりを促進し生涯学習、地域福祉、防災等町民相互交流の拠点とする。

【事業】

- ①地域づくり活動支援
- ②住民交流促進を支援
- ③社会教育法事業



地域づくりと人づくり活動拠点

人事に同意

●副町長

西嶋 康平氏
東京都港区

●教育委員会教育長

菅原 透氏
白鷹町荒砥

●人権擁護委員

高橋恵美子氏
飯豊町手ノ子

(法務大臣に推薦)

学校給食の無償化を 求める意見書を提出

国及び政府に対して次の事項を要望

- 1 国の責任においてすべての市町村で学校給食の無償化を進めること
- 2 学校給食の軽減策を実施する市町村に対して財政支援の拡充を図ること。

ふるさと納税返礼品の確保は十分か

総務文教常任委員会

各課からの主な報告

◆付託事件の審査

「国による学校給食無償化を求める意見書について」の請願書を審査した。

【意見】 国会審議で、

26年度からの小学校給食の無償化が3党合意されていることから、反対する理由はない。

【採決結果】 賛成全員

で、本会議に報告。

◆保険税負担の改正について

税制改正大綱が閣議決定され、国民健康保険の被保険者間の保険税負担の軽減を図る観点から改正となる。

◆消防車両の引渡式について

引渡式が3月8日に飯豊分署で行われた。消防庁より無償貸付への救助資機材・小型動力ポンプ搭載多機能車

を第5分団1部1班に配備となる。

（総務課）

◆農林業センサスの結果について

5年ごとに実施される統計調査で、農家件数が令和2年より100件以上減少する見込みとなった。

◆休日開庁について

マイナンバーカード関係の更新手続きのため、3月16日に休日開庁を行った。

◆営業実績について

令和6年度の、手ノ子スキー場の営業実績が報告された。通常営業された令和2年度比で、約9000人増の28840人となった。

◆営業実績について

（住民課）

◆返礼品の確保は

と納税販売機の実績は、令和6年度は11月下旬に開催しているが、商品の米確保に困った。今後、納入者との調整は回数を増やして行いたい。

●販売機の実績は

島貫委員 道の駅に設置されている、ふるさと納税返礼品の確保は

主な質問と答弁

●返礼品の確保は

と納税販売機の実績は、令和6年度は11月下旬に開催しているが、商品の米確保に困った。今後、納入者との調整は回数を増やして行いたい。

●販売機の実績は

島貫委員 道の駅に設置されている、ふるさと納税返礼品の確保は

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器



返礼品の確保を
(ふるさと納税販売機)

と納税販売機の実績は、令和6年度は11月下旬に開催しているが、商品の米確保に困った。今後、納入者との調整は回数を増やして行いたい。

●販売機の実績は

島貫委員 道の駅に設置されている、ふるさと納税返礼品の確保は

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器

●更新への支援は

屋嶋委員 設置が義務化されて、15年が経過した住宅用火災警報器

の更新への支援は、

総務課長 消防団で、

各家庭を訪問した経緯もある。今後の対応は、最高幹部会での協議事項とさせていただきたい。

●1学年1クラスで

高橋(勝)委員 義務教育学校の開校時期を7年度中に決定すること。1学年1クラス」となる時期を開校時期とできないのか。

また、校舎建設の財源確保をもって開校時期を決定したいとのことだが、公債費の償還ピークを今後迎える状況で、財源確保を確実に行えるのか。

教育総務課長 クラス

数で開校時期を決定するようなことは、現在考えていない。

総務課長 新たな財源

の獲得に努めていく。

総務課長 新たな財源

の獲得に努めていく。

総務課長 新たな財源

の獲得に努めていく。

総務課長 新たな財源

の獲得に努めていく。

総務課長 新たな財源

の獲得に努めていく。

白川ダム周辺の観光開発を！

産業厚生常任委員会

各課からの主な報告

◆東山工業団地に連絡協議会を設立

3月26日に、東山工業団地の事業者で『東山工業団地連絡協議会』を設立した。

◆赤ちゃんおむつ用品クーポン券支給事業

①対象者 町内の6ヶ月未満の赤ちゃんの保護者

②事業内容 1ヶ月あたり4千円6ヶ月分一括して2万4千円交付

◆白川湖畔における都市地域再生等利用区域指定が内定

(健康福祉課)

国土交通省に申請していたもので、白川ダム河川空間のオープン化で、河川空間の利用計画に対する規制が緩和される見込みである。

◆公益財団法人日本さくらの会「さくら功労者」を受賞

手ノ子区協議会が平成22年度から実施してきた桜の森整備事業が評価された。

県内では長井ダムに続き2箇所目になる。

受賞式は令和7年4月2日。

(農林振興課)



通行止めのダム道路

3/9現在

●主要地方道米沢飯豊線の状況は

(質問 遠藤(純)委員)

通称ダム道路の現在の状況はどうなっているか。

地域整備課長 危険な箇所

で雪崩が発生したため通行止めの措置をとっている。周辺でも

雪庇が危険な状態となっている。今後は、雪

質問と答弁

水研究所の判断で解除が決まる。

●健康診断の受診率と受診後の再診

(質問 島貫委員 健康

診断の受診率と重い病気が見付かった際の対応は。

健康福祉課長 健康診

断は住民課所管でおこなっている。健康福祉

課はがん検診をとりまとめている。その受診

率は50％～60％で推移している。異変がある

場合は検査機関からの報告後再診を勧めている。

●復旧を望まない被災水田の取扱い

(質問 高橋(亨)委員)

水害で被災した水田は

全て復旧するのか。復旧しても作付できない水田は農地からは除外できないか。



復旧できない水田もある

農業振興課長 水害の

あと、農家の皆さんに今後復旧すべきかどうか聞きとりをして線引きしている。復旧しな

くても良いというものについては農業委員会

での手続きによって農地から除外できる。

町長選挙期間中の
SNS発信問題

政治倫理審査会報告

「文書による警告の措置」を議長に求める

審査請求の理由

町長選挙期間中にSNSアプリのラインを利用し、事実が伴わない町政に関する虚偽の文章や町民、相手候補者、町内事業者、議員への誹謗中傷にあたる内容の文章を送付した行動があった。

ラインによる誹謗中傷や偽情報拡散が社会問題になっている今日、議員にある立場にも関わらず自ら根拠に欠ける情報を発信し町民の不安や混乱を招き、その信頼に反する行為に当たる行動であり、町議会議員政治倫理条例第3条第1項第1号および第7号の規定に違反する疑いが思料されるため。

飯豊町議会議員

政治倫理条例

第3条第1項第1号

町民全体の代表者として品位と名誉を損なう一切の行動を慎み、その職務に関して不正の疑惑をもたれるおそれのある行為をしないこと。

第3条第1項第7号

議員としての地位を利用して嫌がらせ、強制、圧力をかける行為、不快を感じる性的な行動及びその他人権侵害のおそれのある行為をしないこと。

審査対象議員

松山 和好 選挙中であるにも関わらず、不正確な情報

審査会委員

委員長	舟山 政男
副委員長	遠藤 芳昭
委員	高橋 勝
同	屋嶋 雅一
同	島貫 寿雄
同	遠藤 純雄

審査結果と意見

政治倫理審査会の経過

11/5	議会運営委員会	町民から議員らしからぬ行為との連絡あり
11/29	全員協議会	全員協議会の議題とすることに決定
12/3	審査請求受理	政治倫理基準に抵触の有無審査が必要と決定
12/6	第1回審査会	2名の議員から議長に政治倫理審査請求
12/10	第2回審査会	正副委員長を互選し当該議員へ通知、出席依頼
12/18	第3回審査会	当該議員が出席し本人からの発信文と確認
12/25	質問書	当該議員への質問内容について協議
1/8	第4回審査会	当該議員への質問書
1/17	再質問	当該議員から1/8受理した回答の協議
1/31	第5回審査会	当該議員への再質問書
2/5	第6回審査会	当該議員と正副委員長が1/17面談した結果と今後の対応について協議
2/17	第7回審査会	当該議員が出席して陳述と質疑審査結果の取りまとめ

及び不適格な事項について、ラインアプリを使用して発信したことは、飯豊町政治倫理条例第3条第1項第1号及び第7号の政治倫理基準に違反しているとし、「文書による警告の措置を講じる」と判断した。

議長からの警告

審査会の報告を受け、松山和好議員に対し、以下のとおり警告した。

審査の結果、当該議員の行動は根拠の乏しい非難によって相手候補者、住民及び他の議員の名誉を傷つけるものであり、町議会の秩序を乱す重大な行為である。

議長として、貴職に対し公職者である議員の職責と倫理的責任を改めて深く認識されるよう申し上げます。今後、同条例を遵守されるよう強く警告する。

※詳しくは町のホームページに掲載しています。

海外インバウンド
今冬の1万人

更なる相互交流へ

飯豊町観光協会が主体となり2008（平成20）年から取り組んできたインバウンド（訪日客）受入事業は、今冬1万人を記録した。主に雪を求めて冬期間、台湾からの訪日客であるが、「飯豊での雪遊びは外せない」との評価を得ており、更なる観光・物産への効果を期待したい。今夏は台湾の友好都市との連携を図るための調査団派遣も予定されているとのことである。



飯豊町に訪日客が連日歓迎熱

追
跡
レ
ポ
ー
ト

政策提言はどうなった 町政運営に反映されたのか

議会では、政策提言を次年度の町政運営に反映してもらうために、毎年12月定例会で町に提出しています。今回は、令和5年12月に提出した提言について、6年度の実績として町からの回答がありました（本ページは抜粋を記載）。



今後どうなる米坂線

▼提言1 JR米坂線の早期の復興復旧と利用促進を

①復興復旧にむけた方向性を明確にするように働きかけること

回答…JR米坂線復旧検討会議が4回開催されて、「上下分離」方式の試算額が公表された。鉄路での復旧を目指すことを前提としながら、他の運営方式も含めて検討していくことを確認した。

②利用促進と沿線の活性化策を、民間事業者とともに連携して進めること

回答…山形県地域公共交通活性化協議会における協議や情報共有を通して、沿線自治体以外の自治体とも連携しながら進めたいと考えている。

▼提言2 義務教育学校設置に伴う教育環境の整備を

①「学校・家庭・地域の連携協働推進事業」を積極的に取り組むこと

回答…全小中学校に、地域活動学校協働推進員を配置し、学校と地域を繋ぐコーディネーター役を担ってもらい、地域と連携した校内外の学習の実践に取り組んでいる。

▼提言3 町公共施設総合管理計画に基づいた施設等の取扱いを

①長期の活用が見込めない施設については、廃止や縮小を順次進めること

回答…豪雨災害からの復旧復興を最優先とした予算編成をしていることもあり、解体に着手できず、維持管理に要する最低限の費用を予算計上し、対応しているのが現状となっている。

▼提言4 各世代の住宅・住環境の整備を

①若者や子育て世代の流出防止に向けた住宅整備を推進すること

回答…現時点での整備予定はない。

②高齢者の除雪支援における、除雪隊の担い手確保を確実に実施すること

回答…共助組織による有償ボランティアの仕組みを構築し、広く周知したいと考えている。

地方創生を学ぶ

令和7年1月10日
（会場…あす）に、山形大学人文社会科学部教授の山田浩久氏を講師にお迎えし、「少子高齢化社会における飯豊町の課題」と題して議会自主研修を開催しました。人口が減少しても、消費・商業活動の水準を維持し、地域内総所得を減少させないで成長につなげるなどについて、ご講演いただきました。



地方創生の今後は

町民からのメッセージ「私からひと言」

“ありがとう”の言葉が一番うれしい

第4回

除雪オペレーター

はせざきふみお
長谷崎文男さん(岩倉)



長谷崎さん こども園や学校、公民館などの

現在主にどこを
除雪していますか

長谷崎さん 8年目になります。

除雪隊として
何年になりますか

議会だよりでは町民の皆様の活躍を紹介している。今回は岩倉在住で除雪オペレーターの長谷崎文男さんにインタビューしました。除雪作業が終わり除雪機の点検と清掃でお疲れの所、快く引き受けていただきました。

町公共施設の除雪になります。

今年の除雪作業は
大変だったのでは

長谷崎さん 今年は大

雪となり、除雪作業は大変でした。特に公共施設の除雪ということもあり、少しでも早く除雪が必要な場所が重なり、気持ちに焦りが出たりもしましたが、安全作業に努めてきました。

除雪作業が終わったの
楽しみは

長谷崎さん やっぱり帰ってからの晩酌です。



忙しい毎日で疲れていても、無事に家に帰れることを楽しみに仕事をしています。

除雪作業をして
良かったことは

長谷崎さん 何と言っても、除雪作業をして、‘ありがとう’と言ってももらえる言葉です。その言葉が一番うれしい。住民の方のために頑張ろうと思えます。今年もまだ除雪作業が残っているので、引き続き安全作業に努めていきます。

議会定例会の傍聴お待ちしております

次回の定例会開催は

6月5日(木)予定です。

インターネットからでも見ることができます。議会のホームページでご確認ください。

お詫びと訂正

本紙前号の遠藤芳昭議員の一般質問の報告記事で、電池バレーに関して「飯豊町起業支援施設（xEV飯豊研究センター）（建物）」と「株式会社飯豊電池研究所（入居企業）」を同様と認識して記載したため、読者に誤解を招いてしまいました。建物と入居企業は別組織であり、株式会社飯豊電池研究所は町からの財政支出を受けてはおりませんでした。このためお詫びして訂正いたします。

編集後記

このたびの議会は、嵐町長が就任されて初めての予算議会でした。暮らし満足度No.1のまちづくりを目指す上で、大変厳しい財政状況での予算編成に苦労されたのではないのでしょうか。令和7年度の予算が可決となったことにより、本格的に嵐町政がスタートします。私たち議会も行財政改革を提案し、新たな町政と共に町民の皆様の声を反映させ、皆様の暮らしの安全安心に努めていきます。

(屋嶋雅一記)

発行責任者
発行

議長 菅野富士雄

委員長 遠藤 芳昭
副委員長 屋嶋 雅一
委員 舟山 政男
松山 和好
高橋 勝
横山 清彦